

## 八百津高等学校の生徒・保護者の皆さんへ

### 「みんなにやさしい学校」を目指して

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、7月31日には岐阜県独自の第2波非常事態の宣言が出され、本校においても一層の危機感を持って感染予防と健康管理に取り組んでいます。ご家庭におきましても「新型コロナウイルス感染症への対応について(お願い)」を配布し協力していただいています。毎朝の健康確認と「健康チェックカード」の記入、体調が悪い時の学校への連絡、発熱などの場合の医療機関への受診のお願い、マスクの着用の徹底、学校で体調が悪くなった際のお迎えの依頼などについて、再度ご協力をお願いいたします。

しかし、このような感染予防の取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中ですので、私たちは感染症に対する不安やストレスを抱えながら、with コロナ社会の「新しい生活様式」の中で日常生活を送っています。

このような状況の中で誤解や偏見により、感染者や医療関係者、感染者が確認された事業者及びその家族に対して、誹謗中傷、いじめ、差別的な対応といった人権侵害の事例が全国的に後を絶ちません。

このような危機的な状況だからこそ、私たちひとりひとりが正しい知識を身につけ、相手の立場を自分のこととして考える、「やさしい思いやりの心」をもって一丸となってこの難局を乗り越えていくことが大切です。

本校においても、「新型コロナウイルスはどんなに感染予防に注意を払っても誰もが感染する可能性がある。」「我々が闘うべき相手は人間ではなくウイルスである。」との考えのもと、「みんなにやさしい学校」を目指し、生徒・保護者の皆さんと教職員全員で以下のことに取り組みたいと思います。

#### **第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。**

万が一感染者が発生した場合でも、感染者とその家族、関係者にはやさしく接し、温かい言葉を送りましょう。やさしさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気が広がると、受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながり、感染のさらなる拡大にもつながります。

#### **第二に、医療や介護、保育など、人と接する最前線で働かれる方々にやさしく接し、感謝と尊敬の念をもった言葉を送ります。**

#### **第三に、一人一人のさらなる感染症対策の継続です。**

手指消毒、手洗いとマスクの着用の徹底が一番効果的な感染拡大の防止策です。人にうつさないやさしさを継続していきましょう。

令和2年8月28日

八百津高等学校 校長 亀谷 信幸  
PTA 会長 土谷 成生  
生徒会長 高木 臣嘉